

2025 芸術祭たきざわ 演劇部門

劇団ゆう子ども組
ミュージカル公演

10:00開演 (9:30開場)

ひょうたん島物語

～海のオカリナが眠る禁断の島～



劇団ゆうひよこ組・青年隊
ミュージカル公演

14:00開演 (13:30開場)

旅猫ガスの物語



11月2日

SUN

ひょうたん島物語 [開演] 10:00 (開場 9:30)

旅ねこガスの物語 [開演] 14:00 (開場 13:30)

全席自由

鑑賞料金【1公演】 一般 1,500円(当日2,000円)
中学生以下 1,000円(当日1,500円)

プレイガイド

※チケットはプレイガイドで購入
またはオンライン予約ができます。

9月20日(土)
販売開始

■滝沢ふるさと交流館(休館日: 第一、第三、第五火曜日)

■ビッグルーフ滝沢(休館日: 第二、第四火曜日)

オンライン予約

BOOK NOW

■こちらのGoogleフォームから予約ができます。

会場: ビッグルーフ滝沢大ホール(滝沢市下鴨飼1-15)

主催: 滝沢市教育委員会・滝沢市芸術文化協会

問い合わせ: 019-658-8988 (劇団ゆう)



2025芸術祭たきざわの詳細に
ついては、QRコードから
市ホームページをご覧ください。



ひょうたん島物語

～海のオカリナが眠る禁断の島～

～あらすじ～

伝説の「海のオカリナ」を探す「伊豆市海洋少年団」の太平は、岩手県リアス湾で東日本大震災の大津波で行方不明になった。

半年後、太平の乗っていた漁船はアメリカのロサンゼルスで無人で発見されたが、船の舵に太平のオカリナが巻きついていただけだった。

2年後の夏、オーストリアの音楽学校へ留学が決まった太平の弟（海人は、父（海彦）への報告の為にリアス市を訪れると、伊豆市海洋少年団の仲間たちが追って来た。

――西伊豆の海岸で太平が流したと思われるビンに入った古地図が見つかったのだ――

海人、伊豆市海洋少年団とリアス市海洋少年団の仲間たちは、海洋地質学者の海彦の指導で探究を進めた。

古地図は100年以上前に「鵜の巢断崖」で座礁したロシアの軍艦の物だった。

その軍艦には3年の行方不明期間があることを知った少年たちはグラジオストクへ。また2500万年前フィリピン海峡の海底火山噴火でひょうたん島や伊豆半島が生まれ地にも伝わる「海のオカリナ伝説」を求めてミクロネシアへ。

海のオカリナの音色は、伊豆やひょうたん島と同じように大潮の夜に聞こえるが、誰も見た人はいないという。

リアス市に帰った海人たちを待っていたのは、海彦がひょうたん島に行ったまま帰って来ないという知らせだった。

きっと海彦が研究している「水に溶ける金属オリハルコン」が、「海のオカリナ」に繋がる確証を得たに違いない。しかし、なぜひょうたん島に127穴ある洞窟の何処に海彦は向かったのか・・・。

そんな時、緊急地震速報が無線放送が鳴る。果して…

旅猫ガスの物語

～あらすじ～

世界を旅した猫――その名はアスバラガス。

みんなからは ” ガス ” と呼ばれていました。

若いころのガスは、夢を失いかけたサーカス団に出会います。

客も途絶え、笑顔をなくしていた仲間たち。しかしガスはあきらめることなく、彼らを励まし続けました。

やがて皆が力を合わせ、サーカスは再び人々を魅了する場所へと生まれ変わります。

けれど旅はいつも順調ではありません。

ある街で出会った泥棒猫たちは、派閥に分かれて争いを続けていました。

ガスは「力を合わせれば未来は変えられる」と必死に説きましたが、彼の思いは届かず、追い払われるという苦い経験も味わいます。

それでも彼は夢を信じ、仲間を大切にしながら歩みを止めることはありませんでした。

数えきれない冒険を経て、やがてガスは年老い、街はずれの切り株に腰を下ろすようになります。

そこへ現れた子猫ジェニーに、自らの旅の物語を語り聞かせるうちに、彼がその場所を離れずにいた理由が明らかになります。

――それは若き日に出会い、心を通わせた“ かけがえのない猫を待ち続けていたから。